「コロナ禍で人生を見つめ直す」

福岡教区仏教壮年会　理事長　末松　義成

梅雨の最中です。紫陽花も咲き誇るころ、御同朋の皆様もご健勝のことと思います。

昨年度７月 浄土真宗本願寺派仏教壮年連盟理事を拝命し、２期目となります。

また、研修委員より組織拡充委員会（拡大担当）に配属になりました。

組織拡充委員会には、拡大担当と充実担当があり、既に合同で会議を行ってきました。最近はオンライン会議がほとんどになり、zoom にも慣れてきました。

教区には組があり、組の仏教壮年会活動もあります。組の中で単位会のない寺院もあります。

では、単位会のない壮年の方達も組の研修会に参加できる機会を作ったらどうか。

我々壮年になれば、仏教に興味を持ったり、利害関係のない友と会話したいと思ったりするのは、私も同様です。委員会の皆様と協力し、やれる事から活動していきたいと思います。

福岡教区でも昨年度、活動につきましては全て中止になりました。

緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置などで福岡教堂には出入り禁止になり、もどかしい日々が続いています。

今年３月に教区理事会、続き４月に教区理事会で５月の総会中止を審議した結果、理事会での代理審議で決定しました。

基本的には研修会も中止ですが、オンライン研修会を時期も含めて検討中です。ご講師は既に決定しており、九州大会（長崎）で好評だった、小谷みどりさん 「コロナ禍で人生を見つめ直す」がテーマになっております。

教区のホームページを検索すれば誰でも、見て学ぶ事ができ単位会のない寺院の方達も参加することができます。

福岡教区は教区を東西南北４つのブロックに分けて、持ち回りで教区主催の出向研修会を開催しております。例年通りであれば、ブロック内の組仏教壮年会が開催場所に集合し研修し、終了後は懇親会もやっておりました。これがなかなか地域性を感じ、朋友とのご縁を深める良い機会でもあります。コロナ禍でもあり、この研修会も組と組を繋ぎ 10 月にオンライン研修会を行う予定としています。